

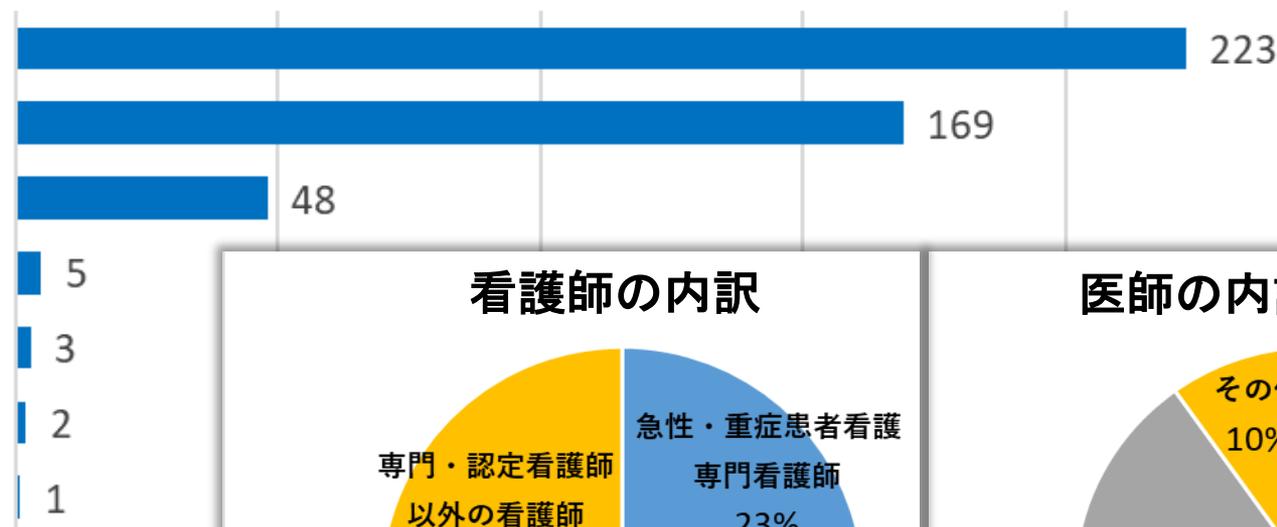
本邦の診療現場におけるPICSの実態調査 アンケート結果報告

- 日本集中治療医学会を対象とし、平成31年4月8日～22日までの2週間、インターネットを通して無記名のアンケート調査を実施した。
- 合計453名より回答を得た。医師と看護師の回答が多数を占めた。

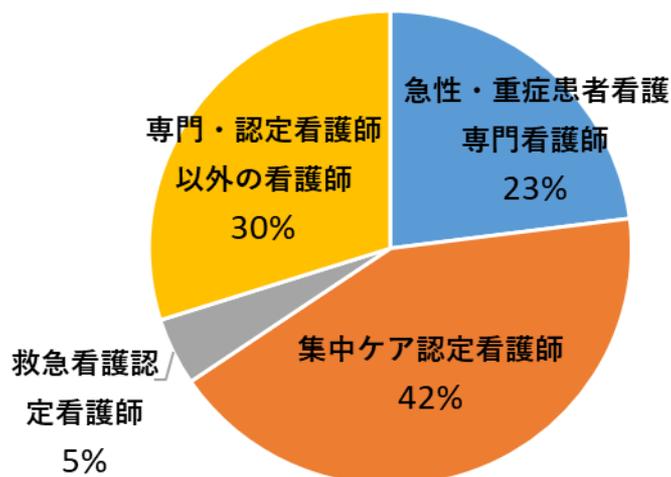
回答者の職種 n=451

0 50 100 150 200 250 (名)

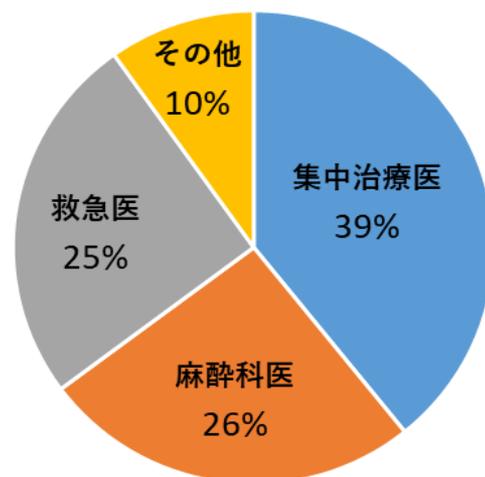
医師
看護師
理学療法士
臨床工学技士
作業療法士
栄養士
薬剤師



看護師の内訳



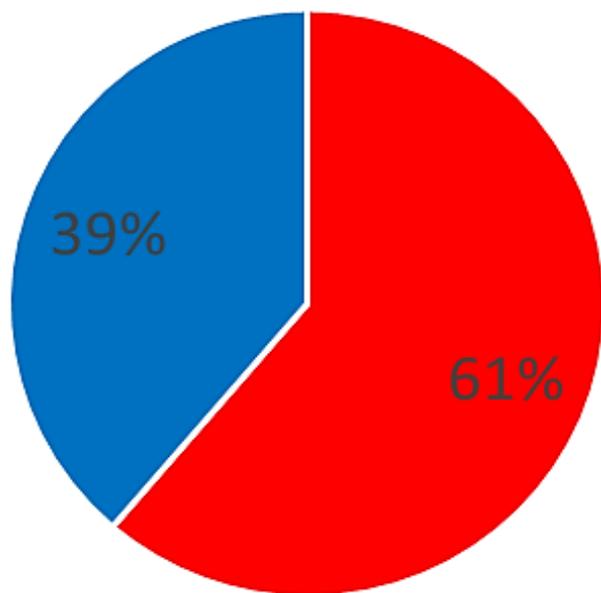
医師の内訳(複数回答含む)



本邦の診療現場におけるPICSの実態調査 アンケート結果報告

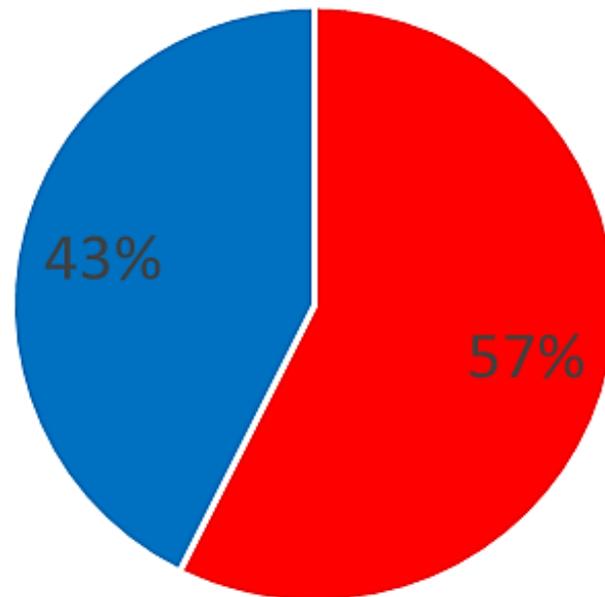
- 「PICS: Post-Intensive Care Syndrome」という用語や疾患概念が、ICUで周知され使用していると答えた回答の割合は61%であった。
- 「ABCDEFバンドル」という用語が、ICUで周知され使用していると答えた回答者の割合は57%であった。

PICSを周知・使用されている n=447



■ はい ■ いいえ

ABCDEFバンドルを周知・使用されている n=447

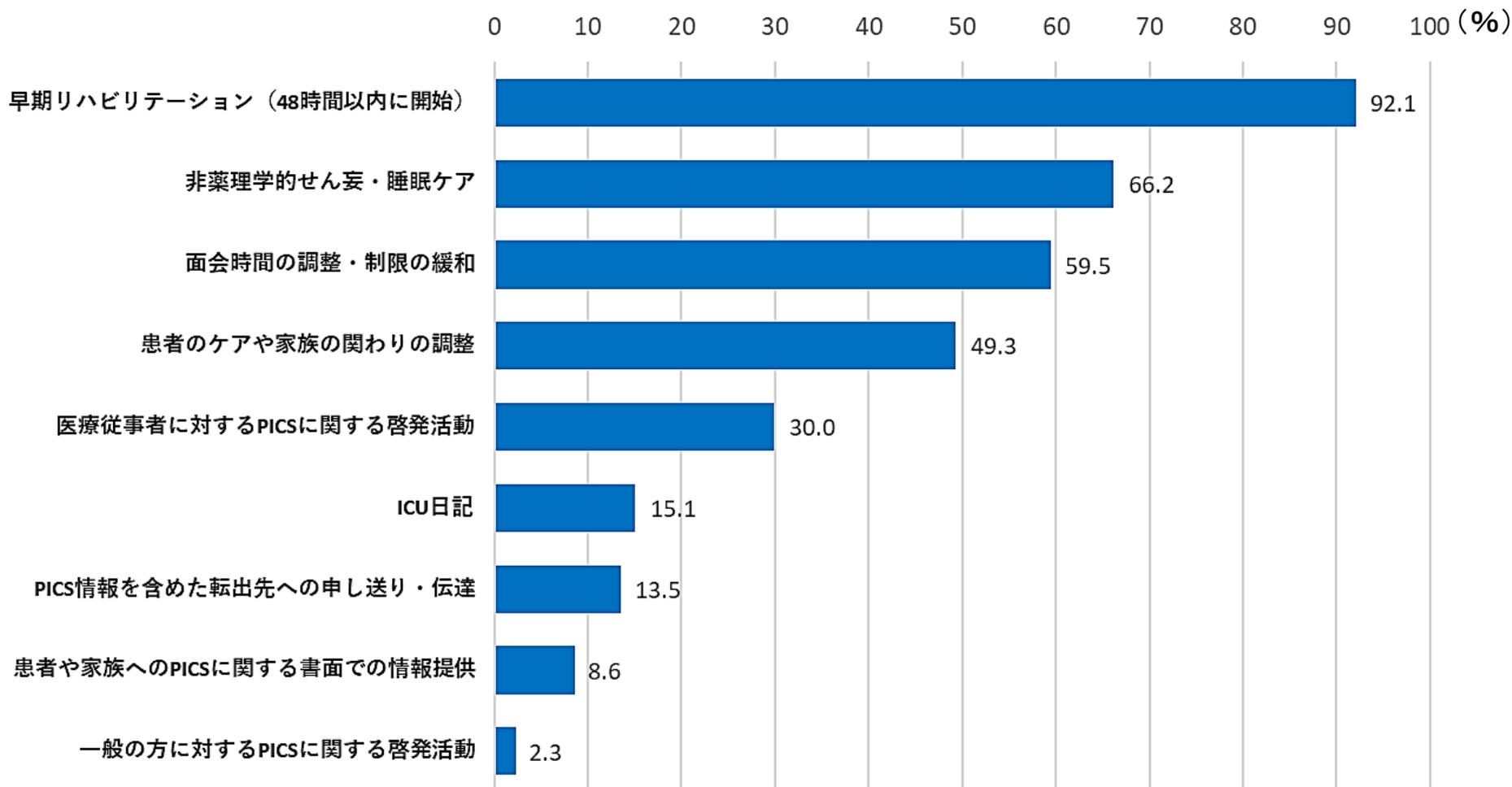


■ はい ■ いいえ

本邦の診療現場におけるPICSの実態調査 アンケート結果報告

- 施設で実践しているPICS対策では、早期リハビリテーションが最多の92.1%であり、非薬理的せん妄ケアが66.2%で2番目に多かった。

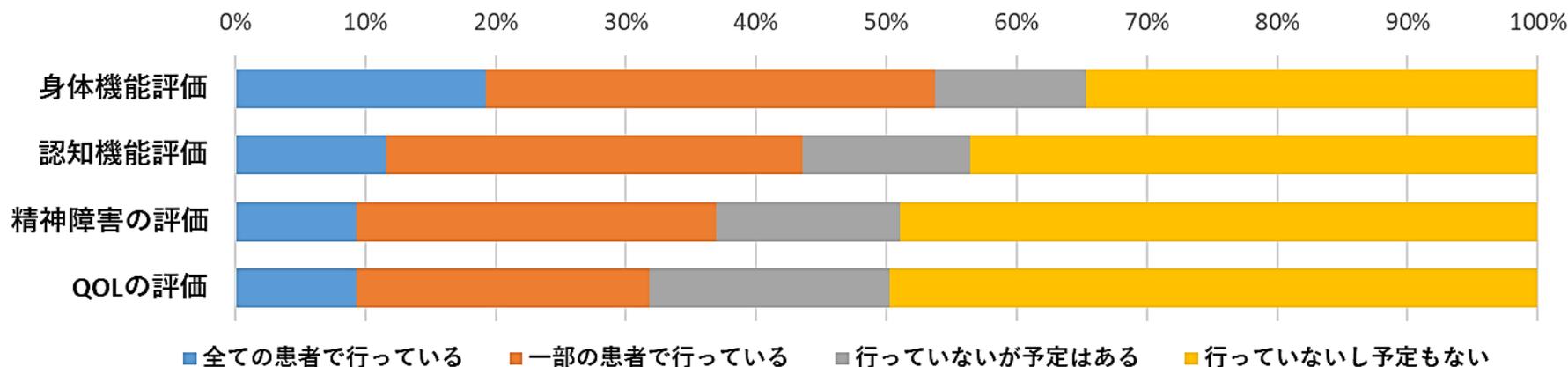
施設で実践しているPICS対策 n=444



本邦の診療現場におけるPICSの実態調査 アンケート結果報告

- ICU患者の退室時あるいは退院時に、身体機能・認知機能・精神障害やQOLの評価を実施していると答えた回答者は約半数以下に留まった。
- ICU退室後のPICS症状の診療を目的としたフォローアップ外来(PICS外来)、PICS症状の診療を目的としたフォローアップラウンド(一般病棟に対するPICSラウンド)、亡くなった患者の家族をフォローアップする介入を実施していると答えた回答者は20%以下に留まった。

ICU患者の退室時あるいは退院時の機能評価 n=441



ICU患者の退室後のPICS対策介入 n=437

